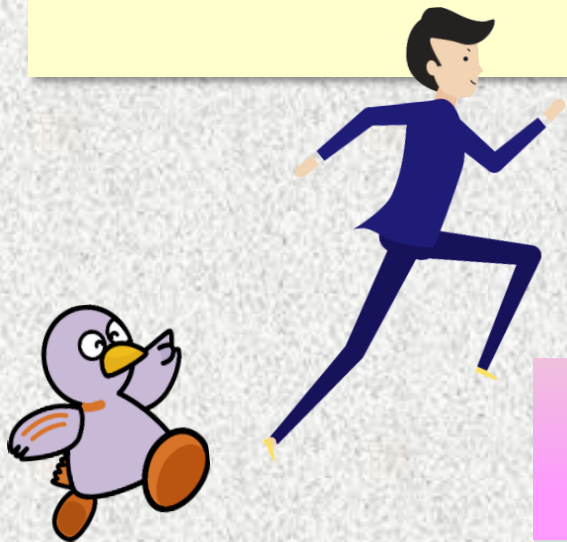


埼玉県のDX 第2ステップへ

DXへの3ステップ



第3ステップ DX

第2ステップ デジタルイゼーション

県民・事業者
サービスの向上

第1ステップ アナログからデジタルへ

コピー使用量
▲57%
(R4※)

リモート会議
の活用
63% (R3)

DXの
基礎固め

※R4.12時点 R1比

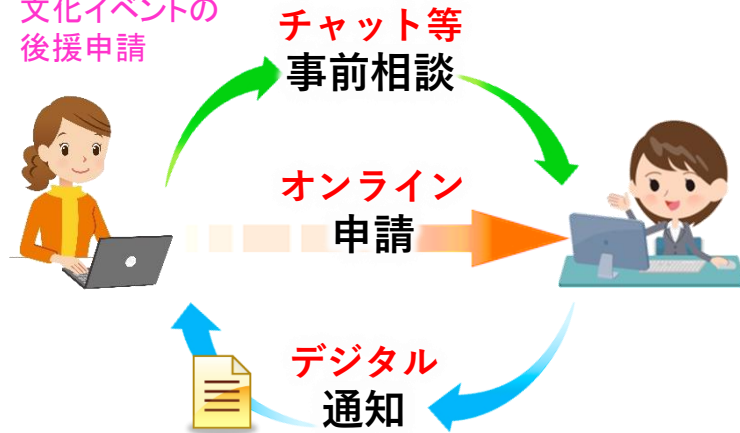
県民・事業者サービスの向上①

手続の利便性を高めるデジタル化の推進

● 申請手続のデジタル化

申請から通知まで全工程をデジタル完結

(例)
文化イベントの
後援申請



● 証紙廃止に伴う全面キャッシュレス化

クレジットカードや電子マネー・QR決済等、
キャッシュレスに対応できる環境を整備



● 納税証明書の添付を省略

バックオフィス連携により納税証明書の添付を省略

申請者



納税証明書



県庁内



システム上で確認

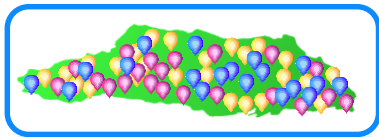


県民・事業者サービスの向上②

GIS(地理情報システム)を活用したまちづくりの推進

● 全庁GIS基盤の整備

全庁の地理情報を集約し、一元的に発信



複数のマップを
重ねて閲覧

福祉施設

避難所情報

〇〇情報



誰でも活用しやすい
ポータルサイト

● 3D都市モデルの整備

都市計画や建物情報等を分かりやすく公開

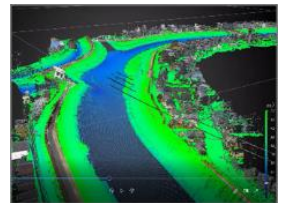


建物ごとの
浸水リスクを
見える化

イメージ画像出典 国土交通省HP(<https://plateauview.mlit.go.jp>)

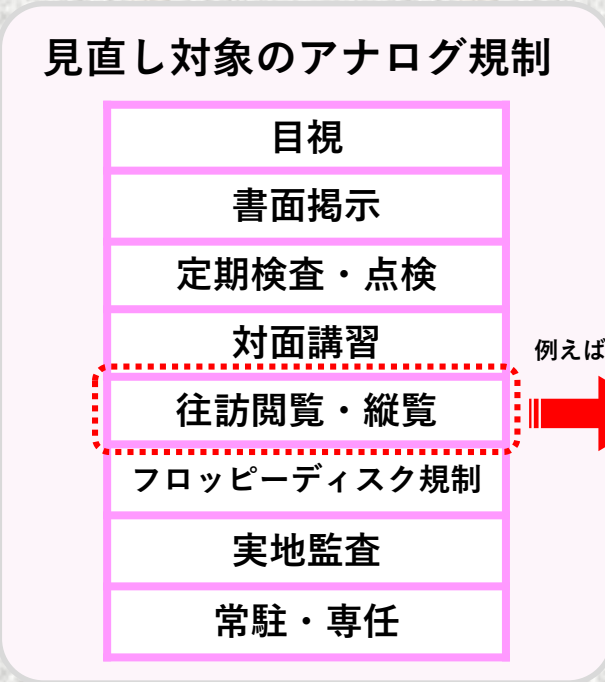
● インフラデータのGIS化

3Dを含む道路・河川インフラデータ等を全庁GISと連携、データ利用を促進
大容量のデータをオンラインで容易に入手

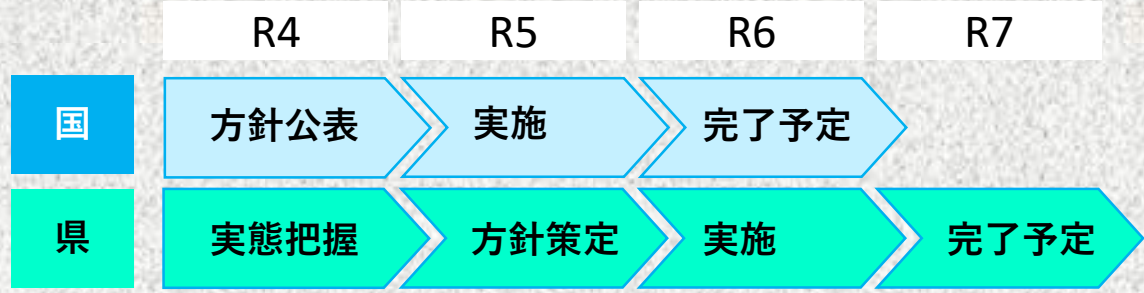


デジタル化阻害要因の解消

デジタル化を阻害する規制を国の動きにあわせて見直し



例えば



DXと行革を
車の両輪
として推進